

多根第二病院

2025 年度 年報

目次

施設概要.....	2
◆診療部.....	3
◆看護部.....	4
◆リハビリテーション科.....	5
◆放射線科.....	6
◆医療生活相談室.....	8
◆栄養科.....	9
◆薬 局.....	12
◆事務部.....	14
【資格一覧】.....	15
【学会発表】.....	16

施設概要

【所在地】

〒550-0021

大阪市港区築港 3-4-25

TEL:06-6559-1212(代表)

FAX:06-6559-1213

アクセス

電 車 大阪メトロ中央線大阪港駅下車徒歩3分

大阪シティバス

大阪駅前より(88)天保山行 築港 1 丁目下車徒歩3分

なんば駅前より(60)天保山行 築港 1 丁目下車徒歩3分



(写真の3階～6階が多根第二病院病棟)

【施設概要】

病 院 長	安部 嘉男
開 設 日	1986 年(昭和 61 年)8 月
病 床 数	216 床
標 榜 科 目	内科／脳神経内科／リウマチ科／リハビリテーション科／放射線科
土地・建物(㎡)	敷地面積 3,568.04 ㎡ 延床面積 専用部 5,743.01 ㎡+共用部 2,016.68 ㎡
指定・認定関係	
基 準 関 係	3 階・4 階・5 階・6 階(各 54 床×4 病棟) 療養病棟入院基本料1/診療録管理体制加算2/療養病棟療養環境加算 1/医療安全対策加算2/データ提出加算/認知症ケア加算/薬剤管理指導料/脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)/運動器リハビリテーション料(Ⅱ)/CT撮影及びMRI撮影
第 三 者 評 価	

(2026 年 3 月現在)

◆診療部

【部 署 概 要】

多根第二病院および多根介護老人保健施設てんぼーざんは、主に多根総合病院で急性期治療を、多根脳神経リハビリテーション病院で回復期治療を終えた方で、なお医療必要度および介護ニーズが高く長期にわたる療養が必要な方に安心・安全な医療や医療的ケアを提供し、医師による医学的管理の下、看護師・介護士・リハビリ療法士・栄養士・薬剤師・医療ソーシャルワーカー等、多職種協同による専門的な管理を通じて、自立支援・社会復帰を強力に推し進めるための施設です。いずれも 24 時間の看取り・ターミナルケアにも対応しています。

<第二病院 入院病棟>

入院設備は医療療養型病棟(医療保険適応)が 4 病棟(3 階、4 階、5 階、6 階)計 216 床あります。長期にわたる療養が必要な方へ、継続的医療ならびに医療的ケアを提供しています。また診療報酬はすべて包括医療となっています。

<介護老人保健施設てんぼーざん 入所療養棟>

入所設備は 7 階と 8 階にそれぞれ 50 床ずつ計 100 床あり、特に 8 階は認知症専門病棟となっています。介護を必とする高齢者(要介護 1～5)の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供しています。

<第二病院 外来診療>

内科、脳神経内科、リウマチ科の外来診療を行っています。

<介護老人保健施設てんぼーざん 通所リハビリテーション>

要介護ならびに要支援患者様を対象に、機能回復に重点を置いた医学的管理下でのデイケアすなわちリハビリテーションサービスを中心に提供しています。

【診 療・体 制】

多根第二病院・多根介護老人保健施設てんぼーざんでは、2022 年度 5 名体制ではじまり、2023 年 4 月に医師 1 名の参入があり実質 6 名体制となっております。新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生という惨禍にも見舞われる中、各部門の並大抵ではない献身的努力と多根総合病院医局の協力を得て、診療継続ができました。多根介護老人保健施設てんぼーざんには実質 1 名の医師が配置されています。両施設協力体制のもと、患者様のニーズに応じた医療提供体制を維持しています。

【特 色・トピックス】

医師や看護師等の医療スタッフはきわめて限られていますが、総合病院、脳神経リハビリテーション病院の後方支援施設としての役割を果たすべく、脳神経疾患はもとより、高齢者を悩ます多傷病のすべてに急性期から慢性期まで幅広く対応して ADL・QOL の向上を目指しています。また、総合病院及び脳神経リハビリテーション病院から患者受入れを、さらに円滑に速やかにするため、対象患者の予備回診、総合病院入院早期からのカルテ情報共有、現在の主治医・看護部・MSW との事前話し合い、情報交換などに積極的に取り組んできました。2017 年 6 月からは SSI 社の電子カルテが導入されています。また、2020 年秋より呼吸・循環動態の不安定な患者様を対象とした、常時監視モニタリングシステム(SAT-MeSSAGE)を導入。2021 年度には各病棟、末梢端末 5 機の拡充導入を行い、患者様の安全管理の向上に努めています。

◆看護部

【部 署 概 要】

当院は、急性期治療を終えた後も長期の療養を必要とする患者さまを受け入れる医療療養病床です。主な医療的ケアとしては、人工呼吸器管理、気管切開、中心静脈栄養(TPN)および末梢点滴、経管栄養(胃管カテーテル・PEG)、膀胱留置カテーテル管理、褥瘡などの創処置が挙げられます。医療区分 2・3 の患者割合は約 90%と、医療的ケアを必要とする患者さまが多く入院されています。

2025 年度からは ACP 推進チーム委員会を立ち上げ、患者さまやご家族の思いを丁寧に聴く取り組みを強化しています。また、「口から食べること」を大切にし、摂食機能訓練の継続や、肺炎予防を目的とした口腔ケアの推進にも力を入れています。

2025 年 4 月に新人看護師 7 名、2026 年 1 月に特定技能外国人(ミャンマー)4 名を受け入れ、計画的に人材育成を進めています。

【診 療・体 制】

看護単位:4 病棟(1 病棟 54 床、3 階～6 階:計 216 床)

人員配置:療養病棟入院基本料Ⅰ 20:1(医療法 4:1)

看護部長:1 名 シニアアドバイザー:1 名

【各病棟】看護師長:1 名 看護主任:2 名 ナースエイド主任又は副主任:1 名

看護要員:看護師・准看護師:60 名 ナースエイド(看護補助者):47 名 病棟クランク:2 名

看護方式:固定チームナーシング

勤務体制:2 交替制

【特 色・トピックス】

- 1.大阪府看護協会主催医療安全管理者養成研修:1 名
- 2.看護師特定行為研修(多根総合病院):1 名
- 3.社会医療法人きつこう会看護部院内認定看護師コース合格者
看護管理者コース:2 名
摂食嚥下障害看護コース:2 名
認知症看護コース:3 名
- 4.医療的ケア教員講習会受講者:15 名
- 5.臨地実習の受け入れ:4 年制大学 1 校 短期大学部(3 年)1 校
- 6.認知症看護認定看護師による地域活動:3 回

【診 療・部署実績】

- 1.看護部目標に対する評価:中間評価(10 月)、最終評価(3 月)
- 2.看護部委員会の成果発表(3 月)
- 3.TQM 活動の発表(3 月)
- 4.看護部委員会主催の勉強会(対象:看護師・准看護師・ナースエイド)
- 5.看護部管理基準・病棟管理基準・病棟管理手順の見直し
- 6.看護手順・看護補助手順の見直しと新規作成

◆リハビリテーション科

【部 署 概 要】

療養病棟は急性期医療終了後に病状は比較的安定しているが、引き続き医学的管理下で生活介助やリハビリによる機能的訓練を継続的に行い、在宅復帰や介護施設への退院を支援する病棟である。

療養病棟の特性上、長期臥床となる患者が多くいるが積極的に離床を促しながら、可能であれば他職種と連携して在宅や介護施設への退院を支援している。また、リハビリ専門職としてリハビリカンファレンスや多職種カンファレンスを通して、ベッドや車椅子のポジショニング、起居動作の介助方法など情報の共有を図っている。

【診 療・体 制】

- ・医療療養病棟(216 床)医療保険適用
施設基準 脳血管リハビリⅡ、運動器リハビリⅠ、廃用リハビリⅡ
- ・理学療法士 3 名、作業療法士 1 名が月～金の各曜日対応している。

【特 色・トピックス】

- ・患者のリハビリ実施業務以外に以下の取り組みを行っている。
- ・多職種(医師・看護師)にてリハビリカンファレンスを開催し、情報の共有化を促進する。
- ・医療安全研修(年 2 回)や看護部勉強会での講演を行う。
- ・大阪病院学会にて演題発表を行う。

【診 療・部署実績】

2025 年度リハビリ実施単位数

											単位：単位	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
脳血管リハ	502	462	423	438	418	487	571	465	613	491	476	503
運動器リハ	62	48	45	46	49	33	58	48	63	61	69	97
廃用リハ	815	736	865	882	810	722	751	630	668	573	610	642
合計	1379	1246	1333	1366	1277	1242	1380	1143	1344	1125	1155	1242

◆放射線科

【部 署 概 要】

【スタッフ紹介】

松田 泰宏：診療放射線技師

【診 療・体 制】

【撮影機器について】

移動用 X 線撮影装置(ポータブル)1 台、全身用MDCT1 台

【特 色・トピックス】

当施設では高齢の利用者が多いため、ポータブル撮影の割合が非常に高くなっています。
 なお、X 線撮影室で胸部写真を撮る際には高齢の利用者が多いのを考慮して、利用時に負担がかからないよう、座ったままで撮影できる車椅子を準備しています。

CT 検査についても、楽に検査が受けられるよう、息止めをせず、手を頭の上に挙げずに身体の横におろしたままで胸腹部 CT 検査が出来るプログラムもあります。

ポータブル撮影時、カセットに背骨が当たって痛くない様に、間にバスタオルなどを敷いて苦痛をできるだけ少なくする様努力しています。

硬縮の強い患者様の撮影では抑制帯などは使用せず、技師自らの手で引っ張り、撮影目的部位が観察しやすい画像を提供する様努力しています。

2017 年度6月より電子カルテがスタートしましたが、機器との接続も完了し、患者情報を直接電子カルテからいただいていますので患者情報の入力間違いはありません。

【診 療・部署実績】

活動報告(業績)

2025 年度

	外来			3階				4階				5階			
	一般	CT	合計	一般	P	CT	合計	一般	P	CT	合計	一般	P	CT	合計
2025年4月	0	0	0	0	117	10	127	0	99	13	112	0	78	4	82
2025年5月	0	0	0	0	109	11	120	0	77	10	87	0	84	7	91
2025年6月	0	0	0	0	103	10	113	0	82	9	91	0	76	6	82
2025年7月	0	0	0	0	96	10	106	0	90	12	102	0	93	12	105
2025年8月	0	0	0	0	104	10	114	0	102	13	115	0	91	9	100
2025年9月	0	0	0	0	84	13	97	0	81	6	87	0	70	15	85
2025年10月	0	0	0	0	101	4	105	0	80	12	92	0	80	12	92
2025年11月	0	0	0	0	85	10	95	0	80	11	91	0	77	3	80
2025年12月	0	0	0	0	95	12	107	0	90	16	106	0	68	12	80
2026年1月	0	0	0	0	65	14	79	0	69	4	73	0	55	7	62
2026年2月	0	0	0	0	87	7	94	0	57	8	65	0	65	7	72
2026年3月	0	0	0	0	74	8	82	0	84	11	95	0	70	13	83
合計	0	0	0	0	1120	119	1239	0	991	125	1116	0	907	107	1014
月平均	0.0	0.0	0.0	0.0	93.3	9.9	103.3	0.0	82.6	10.4	93.0	0.0	75.6	8.9	84.5

	6階				7階				8階				合計			
	一般	P	CT	合計	一般	P	CT	合計	一般	P	CT	合計	一般	P	CT	合計
2025年4月	0	109	11	120	0	26	1	27	0	10	6	16	0	439	45	484
2025年5月	0	92	8	100	0	16	7	23	0	10	1	11	0	388	44	432
2025年6月	0	104	7	111	0	17	1	18	0	9	5	14	0	391	38	429
2025年7月	0	97	17	114	0	13	1	14	0	15	3	18	0	404	55	459
2025年8月	0	93	9	102	0	13	1	14	0	13	2	15	0	416	44	460
2025年9月	0	94	13	107	0	8	1	9	0	16	4	20	0	353	52	405
2025年10月	0	97	17	114	0	6	0	6	0	10	3	13	0	374	48	422
2025年11月	0	79	9	88	0	8	4	12	0	4	1	5	0	333	38	371
2025年12月	0	60	14	74	0	15	4	19	0	5	4	9	0	333	62	395
2026年1月	0	78	5	83	0	9	3	12	0	16	3	19	0	292	36	328
2026年2月	0	77	8	85	0	3	4	7	0	5	5	10	0	294	39	333
2026年3月	0	68	5	73	0	7	2	9	0	10	5	15	0	313	44	357
合計	0	1048	123	1171	0	141	29	170	0	123	42	165	0	4330	545	4875
月平均	0.0	87.3	10.3	97.6	0.0	11.8	2.4	14.2	0.0	10.3	3.5	13.8	0.0	360.8	45.4	406.3

【次年度方針・将来展望・目的・目標】

CTの予約の振り分けなどを適切に行い、件数を増やせていけたらと考えます。

CTの予約時間を決めずに各病棟の都合のよい時間に電話を頂いて撮影する様にしていきます。

CTの時の搬送なども積極的に手伝っています。搬送時のインシデント発生には特に気をつけて、これからも続けていきたいと考えています。

◆医療生活相談室

【部 署 概 要】

多根第二病院、てんぽーざんにおける相談、利用調整を行っている。
 相談受付時には第二病院・てんぽーざんどちらの対象か明確ではないことや、利用調整の途中で対象施設が変更となる場合もあるため、業務内容については第二病院・てんぽーざん双方を含んだ内容となる。
 主な業務内容は、入院・入所・ショートステイの利用調整(相談受付からサービス利用に至るまでの調整過程全てを含む)、退院・退所調整等である。

【診 療・体 制】

てんぽーざんの業務と兼務して 4 名体制で行っている。

【特 色・トピックス】

急性期病院の病床利用率が少なかったからか、総合病院、他院からの新規入院は昨年度と比較すると約 8 割と減少した。入院件数は減少したものの、退院件数は 9 割程度で死亡者の人数は昨年とほぼ変わらなかった。
 退院件数のうち、老健、特養、自宅への退院が 2 割程度あり、総合病院からの帰院件数も含め、自宅や施設への退院、帰院調整の業務が退院件数のうちの 3 割を占めており、業務量は昨年と変わらない状況である。
 てんぽーざんから特養へ退所した方やてんぽーざんから総合病院へ転院し、帰院時は第二病院で受入するケースもあった。
 身寄りのないケースもあり、相談室での金銭管理など、支援状況は多岐にわたっている。

【診 療・部署実績】

2025 年度実績
 新規相談:413 件(てんぽーざん分も含む)
 新入院:209 件
 てんぽーざんからの入院を含めた系列からの入院 168 件、自宅および他院、他施設 41 件
 退院:289 件
 自宅 15 件、総合病院への一時的な退院 59 件(帰院されたケース)、老健てんぽーざん 4 件、特養コスモス苑 1 件、他院他施設 21 件、総合病院への(帰院されていない)退院 23 件、死亡 162 件

◆栄養科

【部 署 概 要】

〔栄養管理業務〕

入院患者一人一人に対し栄養スクリーニング・アセスメントを実施、栄養管理計画書(栄養補給方法、栄養量、嚥下機能に合わせた食形態等)を作成し、定期的にモニタリングを行っています。病棟訪問では個々の患者に合わせた食事栄養相談を行っています。また、NST(栄養サポートチーム)により、医師・看護師・薬剤師・その他多職種と連携し栄養障害の状態にある又は栄養障害を生じるリスクの高い入院患者に対し、患者の生活の質の向上、原疾患の改善促進及び感染症等の合併予防等を目的とし介入しています。

〔給食管理業務〕

老健てんぽーざんと併設のため同一厨房にて全ての食事を調理しています。温冷配膳車を使用し、適切な温度で食事を提供しています。旬の食材を使用し季節を感じられる献立を心がけ、月に数回行事食を提供し食事を楽しんでいただけるよう努めています。

【診 療・体 制】

〔栄養管理業務・給食管理業務〕

管理栄養士 3 名

〔給食管理業務〕

委託給食(日清医療食品kk)

スタッフ 管理栄養士 2 名、調理師 4 名、調理員 10 名

【特 色・トピックス】

- 1、NMA-SF・GLIM 基準を用いた栄養スクリーニング及びアセスメントの実施、栄養管理計画書作成
- 2、多職種による経口移行・経口維持の取り組み、ミールラウンドやカンファレンスの実施
- 3、栄養指導、栄養相談の実施
- 4、栄養管理委員会の開催
- 5、行事食、イベント食、郷土料理の実施
- 6、ICT 委員会、褥瘡対策委員会、MRM 委員会、防災検討委員会、摂食嚥下支援委員会、ACP 推進委員会、チーム医療推進委員会、認知症ケアチーム委員会への参加
- 7、港区食品衛生協会栄養士部会への参加、港区健康フェスタへの参加
- 8、栄養科だよりの作成、掲示(各フロア)
- 9、NST(栄養サポートチーム)の介入
- 10、濃厚流動食・栄養補助食品の見直し
- 11、ハーフ食の導入

【診 療・部署実績】

食種別食事提供数 2025 年度(単位:食)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
常食	341	372	498	534	446	483	471	449	394	372	392	435
きざみ食	610	657	491	439	413	422	474	396	489	514	537	535
パ～汁食	783	638	600	606	646	399	387	469	414	279	500	829
嚥下食	1,666	1,967	2,019	2,068	1,731	1,634	1,538	1,302	1,221	1,461	1,376	1,477
軟菜食	693	708	680	688	613	757	805	774	897	983	1,092	934
糖尿食	1,133	1,017	895	820	757	720	644	529	607	620	666	792
心臓食	128	186	196	100	73	5	182	180	270	256	292	313
心糖食	0	0	0	20	76	2	8	90	93	93	84	50
腎臓食	270	277	270	196	209	180	186	180	148	90	37	0
肝臓食	147	98	109	93	93	90	91	0	0	0	0	17
潰瘍食	73	170	120	121	117	120	129	210	208	124	113	124
脾臓食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	93
低残渣食	0	0	0	0	0	64	0	0	0	8	115	173
濃厚流動食	7,958	8,474	8,260	8,580	8,839	8,613	8,743	8,383	9,068	8,940	7,528	8,428
計	13,802	14,564	14,138	14,265	14,013	13,489	13,658	12,962	13,809	13,740	12,737	14,200

行事食・イベント食 2025 年度

4 月	お花見会	お花見弁当
	郷土料理	スタミナラーメン(茨城県)
	季節の料理	筍ご飯、かつおのたたき
	季節のデザート	さくらゼリー
5 月	八十八夜	筍ご飯、お茶プリン
	こどもの日	カープゼリー
	季節の料理	豆ご飯
	郷土料理	鳴門うどん(徳島県)
6 月	郷土料理	ばら寿司(岡山県)
	季節の料理	冷麺
	季節のデザート	あじさいゼリー
7 月	郷土料理	ゴーヤチャンプル(沖縄県)
	七夕	七夕そうめん、お星さまゼリー
	土用の丑の日	鰻の蒲焼き
	季節の料理	夏野菜カレー
8 月	郷土料理	太平燕(熊本県)
	ワンプレートランチ	ワンプレートランチ

	お盆献立	茶そば御膳
	季節の料理	冷やし中華、夏野菜カレー
9 月	郷土料理	ほうとう(山梨県)
	敬老の日	赤飯、紅白ゼリー
	季節の料理	栗ご飯、冷しとろろそば
	季節のデザート	栗モンブラン
10 月	郷土料理	がめ煮(福岡県)
	十五夜	お月見そば、お月見ゼリー
	季節の料理	さつま芋ご飯
	ハロウィン	かぼちゃプリン
11 月	郷土料理	味噌カツ(愛知県)
	季節の料理	炊き込みご飯
	すこやか祭り	たこやき
12 月	郷土料理	治部煮(石川県)
	お寿司フェア	にぎり寿司
	冬至	柚子ゼリー
	クリスマスイブ	チーズハンバーグ、クリスマスケーキ
	クリスマス	オムライス、牛肉の赤ワイン煮、クリスマスケーキ
	大晦日	年越しそば
1 月	お正月	おせち料理
	郷土料理	とり天(大分県)
	季節の料理	雑煮風
2 月	節分	助六寿司、わたようかん
	郷土料理	山賊焼き(山口県)
	季節の料理	粕汁
	バレンタインデー	チョコプリン
3 月	ひなまつり	ちらし寿司、三色ゼリー
	お寿司フェア	にぎり寿司
	季節の料理	筍ご飯、豆ご飯
	郷土料理	チキン南蛮(宮崎県)

月 1 回、お誕生日メニューとして散らし寿司を提供。

◆薬 局

【部 署 概 要】

調剤業務、注射業務、医薬品情報管理業務、薬剤管理指導業務、医薬品管理業務を中心に医薬品の安全管理と適正使用を促進する業務を行っている。

〔方針・目標〕

1. 医薬品情報を加味した安全かつ安定な医薬品供給に努める。
2. 医師の処方に基づき、患者様の薬物療法に貢献する。
3. 他部門との連携を進めながら、業務の効率化を図る。
4. 診療報酬関連の業務の実施と適正な算定について努力する。
5. 医薬品費の抑制として、後発医薬品の採用促進に努める。

【診 療・体 制】

〔スタッフ〕

薬剤師 3 名(1 名は非常勤「多根老人保健施設 てんぽーざん」兼務)

事務 1 名 調剤補助者(非常勤) 1 名

〔調剤業務〕

入院処方箋枚数 月平均 2655.8 枚

〔注射業務〕

入院注射箋枚数 月平均 1898.8 枚

〔医薬品情報管理業務〕

医薬品情報の収集・管理、関連部署への薬剤情報の提供、副作用情報・緊急安全性情報の提供、主な採用医薬品の錠剤識別表の配布、薬剤部ニュース発刊、院内医薬品集発刊

〔薬剤管理指導業務〕

医師の薬剤管理指導指示書に基づき薬剤管理指導を行い、患者様が安心して安全に納得して薬物療法を受けられるように心がけている。

全ての入院患者様の持参薬を鑑別報告している。

薬剤管理指導対象外の患者様についても、退院時「お薬説明書」を作成し、交付している。

指導患者数 月平均 29.6 名 薬剤管理指導料請求件数 月平均 99.8 件

〔医薬品管理業務〕

在庫数、保管状況、使用期限の管理を行っている。

病棟配置薬に関しても、月 1 回確認している。

【特 色・トピックス】

- ・2010 年1月よりすべての長期入所者様に一包化調剤を行っている。
- ・2011 年 8 月より、アンプルなどの単剤についても交付している。
- ・2012 年 4 月より、医療生活相談室からの要望により老健入所判定会の資料として処方薬を鑑別し、
当院採用の代替医薬品と薬剤費の概算を報告している。
- ・2013 年 3 月より、定期処方の開始曜日を全病棟「木曜日」に統一した。
- ・2014 年 6 月より、注射薬の交付について処方ごとにアンプル・バイアルをセットしている。
- ・2015 年 4 月より、従来 栄養科が注入食に添付していた補正用の食塩を看護部門からの要望を受けて薬局から定期処方と共に交付している。
- ・2017 年 6 月より、電子カルテの可動により薬剤業務がシステム化された。(医薬品在庫管理を除

<

- ・2018年12月より、毒薬及び覚せい剤原料については、病棟・薬局双方で確認(押印)して交付している。
- ・2019年6月、災害時の備蓄として、下記医薬品を5F,6F病棟に分割して設置した。
- ・2021年 コロナ禍において、コサウィルスRNAワクチンの希釈・分注を行っている。
- ・2022年 条件付きBOXを作成し、病棟での頓服薬の在庫の効率化を図った。
- ・2023年 より安全に注射投薬を行えるように注射監査システム「F-AUDIT」を導入した。
- ・2024年 広域抗菌薬使用患者の一覧を作成
- ・2025年 調剤内規見直し。一包化手順改定。効率化と分包紙購入量のコストダウンが図れた

【診療・部署実績】

後発医薬品採用率]

後発医薬品のある先発医薬品に対する後発医薬品採用率(品目数):86.2%

〔処方箋枚数・調剤件数〕

	処方箋		注射箋枚数	
	枚数	件数	入院	外来
2025年4月	2,769	5,296	2,101	1
2025年5月	3,041	6,176	2,219	0
2025年6月	2,571	4,963	2,030	0
2025年7月	2,851	5,843	2,095	0
2025年8月	2,571	4,943	2,062	0
2025年9月	2,468	4,763	1,810	0
2025年10月	2,749	5,638	1,927	0
2025年11月	2,462	4,777	1,957	2
2025年12月	2,657	5,021	1,833	2
2026年1月	2,869	5,723	1,788	0
2026年2月	2,362	4,689	1,501	0
2026年3月	2,499	4,800	1,462	0
合計	31,869	62,632	22,785	5
月平均	2,655.8	5,219.3	1,898.8	0.4

〔薬剤管理指導件数〕

	指導患者数	指導件数	請求件数
2025年4月	23	75	75
2025年5月	29	98	97
2025年6月	29	103	103
2025年7月	31	105	104
2025年8月	33	103	103
2025年9月	34	119	119
2025年10月	32	118	118
2025年11月	29	107	107
2025年12月	32	111	111
2026年1月	22	70	70
2026年2月	30	90	90
2026年3月	31	98	98
合計	355	1,197	1,195
月平均	29.6	99.8	99.6

◆事務部

【部 署 概 要】

事務部は、多根介護老人保健施設てんぽーざんの管理部業務内容を兼任して事務部門及び施設管理を担当しています。内容として、窓口業務及び保険請求業務、管理統計資料作成、経営指標資料作成等以外にも、患者や利用者の搬送および送迎業務、施設管理も行っています。病院の入院病棟施設基準として療養病棟入院基本料 1 を取っており、216 床全てが医療保険適用下の医療療養病床となっています。大都市の中にある慢性期療養施設として、高齢者の方や長期療養を必要とする方に対し少しでも安心して療養を受けていただけるよう、心がけています。

【診 療・体 制】

多根第二病院は事務長1名、シニアアドバイザー1 名、てんぽーざんと業務兼任の部員 5 名の 7 名体制にて行っています。

【特 色・トピックス】

多根第二病院は慢性期医療を提供している病院です。事務部は其中で、老健業務を兼務しながら受付から保険請求、そして施設管理などその範囲は広く行っています。入院患者のほとんどが高齢者で、そして長期の入院となっている中、他の職種と協力してより良いサービスを提供できるように心がけています。

【診 療・部署実績】

			3 F	4 F	5 F	6 F	計	
長期入所	入院者数（新規入院者）		名	65	63	67	74	269
	退院者数		名	71	70	78	74	293
	在院者延日数（延人数）		日	17,899	18,045	17,118	18,040	71,102
	平均在院日数		日	263.2	271.4	236.1	243.8	253.0
病床稼働率			90.9%	91.7%	87.0%	91.7%	90.3%	
1 日当り			名	49.0	49.4	46.9	49.4	194.8
入院	入院経路	総合病院	名	51	54	58	63	226
		他院	名	13	9	5	6	33
		併設老健	名	1	0	0	0	1
		他施設	名	0	0	1	0	1
		外来	名	0	0	0	0	0
		自宅	名	0	0	0	0	0
退院	退院経路	総合病院	名	18	19	23	25	85
		他院	名	0	2	0	1	3
		併設老健	名	2	1	3	2	8
		他施設	名	8	2	4	4	18
		死亡	名	0	0	0	0	0
		自宅	名	0	0	0	0	0

【資格一覧】

施 設:	多根第二病院	部 署:看護部
人 数	資 格	
1 名	認定看護管理者	
1 名	認知症看護認定看護師	
2 名	特定行為看護師	
3 名	介護支援専門員	
施 設:	多根第二病院	部 署:薬局
人 数	資 格	
2 名	認定実務実習指導薬剤師	
施 設:	多根第二病院	部 署:栄養科
人 数	資 格	
1 名	大阪糖尿病療養指導士	
1 名	フードスペシャリスト	

【学会発表】

【学会発表】	施設：	多根第二病院	部署：	看護部
会名称	第 23 回 大阪病院学会			
発表テーマ	医療療養型病院における入浴介助の負担に関する実態調査			
日時	2025/11/9	発表者	三角 綾乃	
場所	グランキューブ大阪			

【学会発表】	施設：	多根第二病院	部署：	リハビリテーション部
会名称	第 23 回 大阪病院学会			
発表テーマ	少子超高齢社会の医療提供体制　－その課題と目指す方向－			
日時	2025/11/9	発表者	理学療法士 田之上 将大	
場所	グランキューブ大阪			